

山口県岩国市に「ENEOSの森」を開所 ～環境貢献活動として森林保全を実施～

記者各位

当社(社長:西尾 進路)は、環境貢献活動の一環として、当社グループの製油所所在地近隣6カ所に順次「ENEOSの森」を設定しており、これまでに、神奈川県、北海道、奈良県、岡山県の4カ所に開所済みですが、今般、5カ所目の「ENEOSの森」を当社グループの事業所である麻里布製油所、中国支店が所在する中国エリアに開所しましたのでお知らせいたします。

「ENEOSの森」とは、地方自治体または、社団法人国土緑化推進機構とパートナーシップを結び、協賛金を負担することにより、一定エリアの未整備な森林の保全を支援する活動です。今回は、岩国市の市有林の中から対象地を選び、岩国市にて新たに定められ、企業の社会貢献の場を提供する「いわくにふれあいの森づくり事業」制度を活用いたしました。活動の際には、特定非営利活動(NPO)法人・やまぐち里山人ネットワークの指導の下、森林の保全を行います。

なお、この岩国市の制度を活用した森林の保全活動は、本件が適用第一号となります。

今回の開所式は、絶好の秋晴れの下、当社代表取締役副社長 小林 俊和、社会環境安全部長 栗本 駿、中国支店長 平山 芳樹、麻里布製油所長 松原 雄一をはじめとして社員およびその家族、会社OBなど83名を含む総勢104名が参加する盛大なものでした。挨拶、看板除幕式、記念撮影等の式典の後、参加者全員での植樹や、間伐作業、自然観察、しいたけ菌打ちなどに汗を流しました。こうした、自然に触れ合う様々な体験を通じて、森林保全の意義を参加者一同あらためて再認識しました。

また、当社は(社)日本野球機構の活動への協賛を実施しており、植樹する樹種の一部に野球のバットの原木となるアオダモを加え、バット原木の育成に貢献しました。

記

「開所式」概要

1. 日時 2006年10月7日(土)11:00～14:00
2. 場所 岩国市周東町の「ENEOSの森」およびその周辺(山口県岩国市周東町)
3. 参加者 104名
(社)国土緑化推進機構:1名、山口県:6名、岩国市:4名、
NPO法人やまぐち里山人 ネットワーク:10名、当社社員、家族およびOB:83名
4. 式次第
 - (1)挨拶
 - ・新日本石油株式会社 代表取締役副社長 小林 俊和
 - ・社団法人 国土緑化推進機構 常務理事 大島 克郎 様
 - ・山口県 農林水産部 審議監 玉木 和雄 様
 - ・岩国市 農林経済部長 武居 順二 様
 - (2)「ENEOSの森」看板除幕式(除幕者:当社代表及びご来賓)
 - (3)記念植樹
アオダモ、ヤマザクラ、イロハモミジ、クヌギを植樹
 - (4)森林保全活動
植樹、自然観察、遊歩道整備などの森林保全活動

以上

別添資料:「ENEOSの森」開所式風景写真



看板を囲む当社参加者一同



植樹をする参加者親子